



議会だより

Vol.126



様々な想いを胸に、希望溢れる未来へ

1. 二十歳を祝う会 P2~3
2. 定例会のあらまし／議案審議結果 P4
3. 議員活動出席状況／傍聴・議会予定 P5
4. 一般質問 P6~9
5. 議員研修会／視察活動 P10~13
6. 田子小学校議場見学 P14

輝かしい未来へ

令和8年1月11日
田子町二十歳を祝う会

令和8年田子町二十歳を祝う会が行われました。中央公民館のホールには振り袖姿・スーツ・袴姿の二十歳を迎える25人が集まりました。恩師や友達との再会を懐かしむ声や、写真を撮り合うなど、会場には笑顔が溢れていました。

式典では新たな門出を迎え、引き締まった顔で未来を見つめる姿がステキでした。



様々な夢・想いを胸に
感謝の気持ちを忘れない



二十歳の門出を祝う

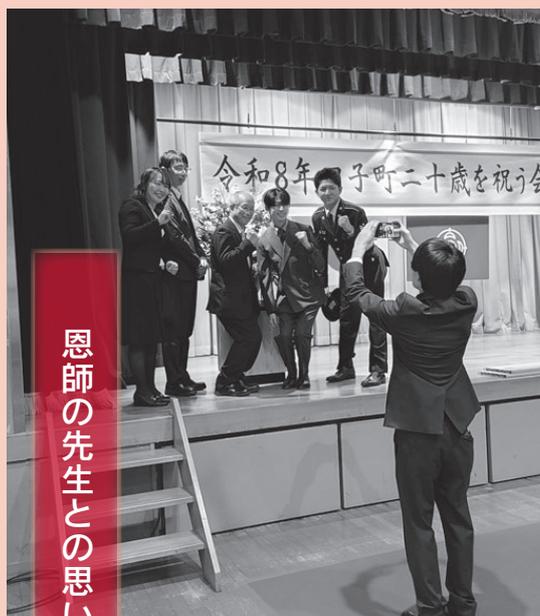


P2~P3

定例会／審議結果

P4

議員活動出席状況



恩師の先生との思い出



大人になった 友と再会！！
私たちの未来はこれから！！

P5

一般質問



P6~P9

議員研修会／視察活動

P10~P13

**令和7年田子町議会定例会
臨時会ありまし**

定例会

令和7年第4回定例会が12月9日から12月11日までの3日間の会期で開催されました。

12月9日には諸般の報告、議案の上程・説明がされました。

12月11日の一般質問には3名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

同日、議案の審議、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われ、追加提案が1件ありました。

臨時会

令和8年第1回臨時会が1月9日に開催され、議案1件の上程・説明・審議が行われました。

下記、議案等の採決結果については、時系列となります。

議案番号	議案等の採決結果 件名と主な内容 賛成・・・○ 反対・・・× 欠席・・・欠 退席・・・退 議長は採決に加わらないため・・・-	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決結果	尾形 憲男	桃本 義見	宮村 尚哉	欠端 則夫	山崎 美代志	欠 員	山崎 一義	菊地 健二	中平 美賀子	澤口 勝
令和7年田子町議会第4回定例会												
議案第50号	○田子町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について・・・田子町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	-
議案第51号	○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合同約の変更について・・・黒石地区清掃施設組合が解散するため	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	-
議案第52号	○青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合同約の変更について・・・黒石地区清掃施設組合が解散するため	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	-
議案第53号	○令和7年度田子町一般会計補正予算（第6号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	-
議案第54号	○令和7年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	-
議案第55号	○令和7年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	-
議案第56号	○令和7年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	-
議案第57号	○第7次田子町総合計画基本構想について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	-
令和8年田子町議会第1回臨時会												
議案第1号	○令和7年度田子町一般会計補正予算（第7号）について・・・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業に係る予算	原案承認	○	○	○	○	○		○	○	○	-

議員活動出席状況

地方議会議員の活動は、単に本会議（定例会・臨時会等）などの会議に出席し、議案の審議などを行うだけでなく、当該地方公共団体の事務に関し調査研究するための研修会等の活動や、住民代表として住民意思を把握するための活動等、広域的かつ多岐にわたります。

会議等の名称	派遣場所	派遣期間	派遣議員
世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会 全体会	鹿角市	11月5日	澤口・尾形・宮村 欠端・山崎（一） 菊地
第33回連携中枢都市圏の形成に関する講演会	おいらせ町	11月10日	澤口・尾形・宮村 山崎（一）・中平
令和7年度三戸郡町村議会議員研修会	五戸町	11月20日	澤口・尾形 山崎（一）・菊地
第40回東京田子会役員会並びに総会及び交流会	東京都	11月23日	澤口・宮村 菊地・中平
総務文教常任委員会 学校訪問	田子町	11月24日	澤口・尾形 楳本・山崎（美）
世紀超えトンネル協議会 秋田県知事要望	秋田市	12月25日	澤口・尾形・欠端 山崎（一）・菊地
田子町出初式	田子町	1月4日	全議員
田子町新年を祝う会	田子町	1月8日	澤口・尾形・宮村 欠端・山崎（一）・中平
二十歳を祝う会	田子町	1月11日	澤口・尾形・楳本 宮村・欠端・山崎（一） 菊地・中平

議会を傍聴しませんか！！

田子町では3月に第1回定例会、6月に第2回定例会、9月に第3回定例会、12月に第4回定例会が行われ、随時、臨時会が開かれます。定例会は一般質問を含め会期中は、基本的に傍聴することができます。

※開会は前月末に行われる場合があります。

※T C Vでは編集して放送しています。

※会期日程については田子町役場ホームページをご覧ください。

一般質問

12月定例会では12月11日に一般質問が行われ、

3人の議員が町政について質問をしました。

内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。

TCVでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P7

- ・消防団について
- ・害獣対策について

○尾形議員・・・P8

- ・遊休地の活用について
- ・人口減少対策について

○山崎（一）議員・・・P9

- ・防災について
- ・田子神楽育成について
- ・林道整備について
- ・有害鳥獣被害対策について

○一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。

・質問の時期

定例会において行われ、臨時会では許可されていません。

・質問の通告

質問する議員は期限までに通告書を作成します。通告書は議長の許可を得て町長部局へ配布されます。議場において通告書に記載された以外の質問をすることはできません。

・質問の要領

質問はあくまで質問に徹するべきで、要望やお願い、お礼の言葉を述べることは慎むべきとなっています。



欠端 則夫 議員

地域防災と

害獣対策の要

消防団について

Q 団員確保をどのように考えているのか。

A 団員の充足率76・6%であり、個々の分団毎に年間を通じて声掛け等の勧誘活動を行っている。今後においては、広報たっこやケーブルテレビ等を活用し、広報活動しながら団員の確保に努めてまいりたい。

Q 日中及び夜間に出勤出来る団員の把握が出来ているか。

A 平日の日中、町内で自営や勤務をしている団員のうち、約4割の出勤が出来ている。夜間は町外勤務の方が町内に戻



り、約5割ほどの方が出勤出来るものと考ええる。

Q 人員不足を機材等で補う方法は無いか。

A 人員不足については消防相互応援協定に基づき、隣接自治体から応援を頂き人員不足を補うように対処している。効率的な資機材を取り入れる事も検討していきたい。

Q 冬になるが暖かい長靴を支給できないか。

A 消防団と支給する方向で話し合いたい。

害獣対策について

Q 熊が冬眠に入らず新郷村のよ

ると決めた所もある。当町ではどのように考えているのか。

A 町ではツキノワグマの捕獲実施期間を5月から11月頃と記載しており、実際に今年度11月に2件の箱罠を設置した。

Q 秋田県のように自衛隊に手伝って貰うということをお青森県に進言する考えは無いか。

A 秋田県の協力要請は青森県の2倍以上の出没や6から7倍の被害件数により自治体職員のマンパワー不足とされている。当町では引き続き出没状況をみながら、また、近隣町村とも情報共有しながら必要となった際には要請したいと考えている。

Q 協力者に対する保険等はどうか。

A 田子町鳥獣被害防止実施対策は、町からの委嘱を受けて活動する非常勤公務員として位置付けられ、保証の対象となっている。

Q 県の捕獲事業では町内でも報奨が出る所とでない所があると聞いた。出ない所では町で出すべきと思いが考えは。

A 出す方向で考えている。

Q 緊急銃猟のマニュアルは作成したか。

A 県内では2自治体だけが作成済みで、当町はまだ未定である。

Q 下田子地区に熊が出た時、店舗等は自動ドアを手動にしたが役場は自動のままだった。町の施設はどう対応したか。

A 本年は自動を切っていなかった。来年からは気をつけたい。

Q くくり罠はワイヤー等が壊れやすい。罠のワイヤーや工具を援助出来ないか。

A 罠は効果では無く新しく用意するか修理するかを考えてみたい。また、町でも罠を多数用意してあるので、それを利用してもらいたい。



尾形 憲男 議員

遊休地活用で地域活性化、人口減少対策

遊休地の活用

Q 保育園跡地の活用方法は。

A 地域活性化や住民福祉向上を目指して活用を検討中。財政課題があり、具体化には至っていないが、今後民間のノウハウも活用予定。

Q 重要な行政課題と認識しているのに取り組まないのはなぜか。

A 職員の人数不足など様々な要因があるが、今後はしっかりと対応する。

Q 具体的に何を検討するのか。

A 町民、事業者などとニーズの調査する。

人口減少対策

Q 方針、施策、経過と評価。優先順位、今後の予算措置は。

A 第2期田子町総合戦略を策定し、緩やかな減少を目指している。対応する施策として、

- ①雇用の創出
- ②定住施策
- ③結婚から始まる子育て総合支援
- ④健康寿命の延伸

経過と評価として、重要業績評価指標、KPIの達成度により進捗を毎年度管理しており、44項目を設定し、町総合計画審議会に報告、意見を聴取する。

優先順位と予算措置については、出生数の減少、若者世代の町外流出の歯止めが必要と考えるため、将来に安心と展望を持てる環

境を整えることに優先的に施策を進め、令和8年度当初予算で優先配分する。

Q 令和2年の田子町の総合人口は4968人となっており、令和7年3月末時点では、4683人であり285人の減となっている。これは、第2期人口ビジョンの推定値から97人多く減少しており、特に、若い世代の減少、転出が上回っている。若い世代の定着についてどのように考えているか。

A 若い世代の定着を促すため様々な施策を行っているが、他の行政でも行っている。行政サービス合戦では無く、地域学を子どもたちにアプローチし愛着を持って貰うことが必要と考える。地域を守っていくためには、自分の家を守る後継者を選ぶことが必要

と考える。

Q 各種行政サービスの庁舎内ワンストップ化、情報の取得方法と広報の仕方は。

A 複数課に関連する手続きはワンストップ対応している。書類記入は今後DX推進を検討し、各種証明書などの電子申請及び電子決済ができるよう整備を進める。

町からの情報は、ホームページ、行政配布物、ケーブルテレビや公式LINEを活用してほしい。





山崎 一義 議員

防災や文化、林道整備、 鳥獣被害対策について

防災について

Q 災害時の水の確保について井戸水・湧き水の水質調査等の進捗状況と今後の予定について伺う。

A 井戸水・湧き水の所有者へ水質調査等の意向確認に係る文書を12月5日付けで発出した。来年1月中旬以降に水質検査を行っていく予定としている。

Q 町に1台給水車があるが、さらに必要となった場合の手配などはどうなっているのか伺う。

A 町民の方には、日頃から3日から1週間分の備蓄品を備えてほしいとお願いしているが、今後も強くお願いしていく。給水車についても検討していく。

田子神楽育成について

Q Uターンした神楽経験者を勧誘し、部員の確保に努めていくと報告を受けているが、どのように育成・確保がなされているのか伺う。

A 町や近隣市町に居住している方や高校卒業予定者、Uターンした方に対して声がけしている。その結果、5年間で10名の加入者があり、20代の若者である。育成としては、養成講座を月2回程度開催し、文化祭で成果発表会を行っている。町として、活動補助を行い今後も応援していく。

林道整備について

Q 令和7年度林道刈払い計画4万9246mの実施内容と実績について、また、今後の計画に

ついて伺う。

A 刈払い機等による草刈りを基本とし、倒木があった場合は伐採し、刈り幅は3m以上、刈払い後の草木撤去まで行い、3万5409mを実施した。今後は、13万659mある林道等を、4年から5年に1度全路線の草刈りが実施されるように計画するが、緊急性や重要度を考慮しながら実施していく。

有害鳥獣被害対策について

Q これまでの目撃、被害状況捕獲や駆除実績について伺う。

A 目撃はクマ32件、イノシシ16件、小型獣11件で果樹、野菜飼料作物、水稲が被害を受け、捕獲はクマ13頭、イノシシ16頭、小型獣は5頭となっている。

Q イノシシ16頭捕獲した時に豚熱は確認されたのか、感染があった場合、国の補助等について伺う。また、捕獲した獣の処理方法について伺う。

A 八戸家畜保健衛生所での血液検査の結果、豚熱は確認されていない。国の補助については後ほど報告する。処理は、埋設と償却が基本であるが、焼却炉が無いため埋設で処理している。

Q 農作物被害、人身被害、住宅地に出没、このような状況でもマニュアル作成や訓練は実施しないのか伺う。

A マニュアルについては、県からひな形が示されたことから、作成に取り組む。訓練についても今後取り組んでいく。

Q 緩衝帯やICT機器の実施内容と実証結果について伺う。

A 緩衝帯は、候補地の選定が困難で出来なかった。今後も緩衝帯設置を実施していく。

Q ICT機器は長距離無線式捕獲パトロールシステムと通信機能付きセンサーカメラ5台を購入した。効果は高いと感じており、引き続き確実な捕獲に努めていく。

世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会

「世紀越えトンネル」青森県と秋田県を結び、国道103号鹿角市大湯と国道104号田子町夏坂間のバイパスルート（一部トンネル化）建設を促進するため、田子町と秋田県鹿角市の議会議員が一丸となり早期着工へ向けて活動しています。

世紀越えトンネル全体会 in 鹿角市



田子町と鹿角市の連携継続の重要性を再認識

(澤口 勝)

人と物の交流を高め災害に備える一番の早道

(菊地 健二)

トンネルが出来る事への経済以外の重要性

(欠端 則夫)

近年の異常気象や災害への対応には不可欠

(宮村 尚哉)

世紀越えトンネル 秋田県知事要望



整備は必要。予算、国・県事業は今後検討
(山崎 一義)

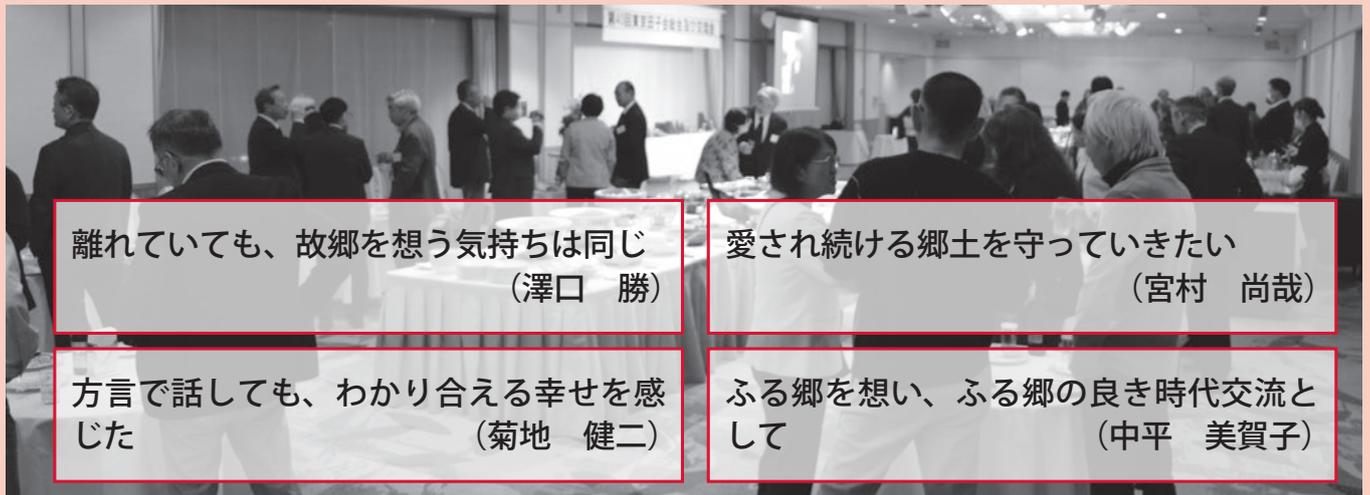
秋田県議会

令和7年11月23日
第40回 東京田子会総会及び交流会

第40回東京田子会総会及び交流会



元気な田子人!! 故郷を思う気持ちを忘れない



離れていても、故郷を想う気持ちは同じ
(澤口 勝)

愛され続ける郷土を守っていききたい
(宮村 尚哉)

方言で話しても、わかり合える幸せを感じた
(菊地 健二)

ふる郷を想い、ふる郷の良き時代交流として
(中平 美賀子)



八戸圏域連携中枢都市圏研修会

「選ばれる」地方都市圏に求められる地域交通戦略」と題し、当町のコミュニティバスの運行にも尽力をいただいた福島大学の吉田樹教授からご講演を頂きました。

地域交通の再設計は「生き残り戦略」

地元定着への鍵は公共交通機関が重要。
(宮村 尚哉)

持続する地域のために公共交通がある。
(山崎 一義)

コミュニティバスの成功事例と継続として。
(中平 美賀子)



令和7年度三戸郡町村議会議員研修会

「三戸郡の文化財と文化財保護について」と題し、五戸町教育委員会教育課村木課長補佐から三戸郡内の文化財の紹介や保護政策などの講演がありました。

文化を守り育むことが大切。
(澤口 勝)

スクラム8を活用し、ふるさと発信を！
(尾形 憲男)

自然・伝統文化・守り語り継ぐ事が重要。
(菊地 健二)

令和7年11月25日 学校訪問

総務・文教常任委員会
 会行政視察で給食センター・田子小学校・田子中学校・田子幼稚園へ訪問しました。

学校訪問とは、子どもたちがより良い環境で活動できるように現場の声を聞き、課題解決へ教育現場と町、議会が一緒に取り組んでいくことです。



こども達の楽しい学舎で有り続ける様に！
 (尾形 憲男)

子供たちの安全、学習環境を第一に考え
 要望に応えるよう協力する。(楳本 義見)

学校側からの修繕などの要望に出来るだけ
 対応できるように。(山崎 美代志)

議会訪問

ようこそ 議場見学へ!



11月27日、田子小学校2年生22名が生活科の校外学習で役場見学にやってきました。議場見学では実際に議席に座ったりマイクで発言したりと、議会の雰囲気を経験しました。



執筆協力

全議員

発行・編集責任者
議長 澤口 勝
議会広報編集委員会 (126号)
委員長 欠端 則夫
副委員長 菊地 健二
委員 尾形 憲男
宮村 尚哉
山崎 一義

議会人として、自治体の意思決定にしっかりと関与して行かなければ、明日は我が身、襟を正して活動をしていこう。
(尾形 憲男)

ベネズエラを世界はどう見ている?
2013年から2021年の間にGDPが75%以上縮小、79%の国民が極度の貧困状態。約790万人が国外に避難、国民の20%が海外に出ている状況。13年間で3度のデノミ、合計14桁の切り下げによるハイパーインフレ。石油埋蔵量世界1位でありながら国民が豊かでない。マドゥロ氏は、誰のための政治を行っていたのか?

つばやき